

登録コード	F3A70340	開講年度	2026			
授業科目	卒業研究ゼミ				担当教員	田中 稔久 他
英文授業名	Seminar in Graduation Study I				副担当	KIM KYOUNGOK
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生
講義室	繊維10番講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	22Fカリ					
	【2022年度以前加付対象】繊維関連製品群に関するマーケティング情報の収集能力や情報分析能力				研究成果をまとめて口頭発表することができるようになる。	
	26Fカリ・先進感性・感性工コース, 25Fカリ・先進感性・感性工コース, 24Fカリ・先進感性・感性工コース, 23Fカリ・先進感性・感性工コース					
	【2023年度以降加付対象】繊維・感性工学に関する知識を基に、モノ作りを実施できる能力				研究成果について、モノ作りとの関連性や応用について説明できるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	コース教員と4年生全員が出席して週1回のゼミを行なう。卒業研究の進捗状況について発表し、教員や他の受講生との質疑応答を行なう。発表者は、レジュメとスライドを用意する。					
(5)授業計画	この授業は1コマ100分で実施する。 開始は5月の連休明けからを予定している。詳細についてはeALPSで周知する。 1週につき、4名程度が研究の進捗状況を発表する。 発表後には、教員および他の受講生との質疑応答を行なう。					
(6)成績評価の方法	研究の発表(25%)、質問への回答(10%)、レポート(35%)、発表の仕方(30%)で評価する。 45時間の学修時間が最低必要(週3時間=週1の研究室ゼミに参加、週1回の卒研ゼミに参加が必須)。 なお、研究倫理教育eラーニング(eAPRIN):「責任ある研究行為」、「倫理審査申請のための教育研修コース」を修了していることを成績評価の前提とする。					
(7)成績評価の基準	秀: 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優: 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良: 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可: 授業の達成目標の水準にある 不可(D): 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可(F): 授業の達成目標の水準にない					
(8)事前事後学習の内容	日頃、各研究室で能動的に文献調査、実験、分析等に取り組んだ内容を研究室のゼミで議論して取りまとめること。普段の卒業研究への取り組みが大切である。各研究室では、通常1限から4限は最低取り組みを進めることを前提にスケジュールが用意されている。45時間の学修時間が最低必要(週3時間=週1の研究室ゼミに参加、週1回の卒研ゼミに参加が必須)であり、足りない分は5限の時間等も有効に利用して準備すること。					
(9)履修上の注意						
(10)質問、相談への対応	授業時間での質疑応答にて対応する。					
(11)学生へのメッセージ	コース教員と4年生全員が君の発表を聴いている。多くの意見を参考にして、よりよい卒業研究を行おう。最も伝えたい内容を短時間で正確に伝える技術をマスターしよう。					
(12)その他	特になし。					
【教科書】	発表者のレジュメを用いる。					
【参考書】	発表者のレジュメ及び発表資料を用いる。					